

関東支部 事業化支援プロジェクトマネージャー 工藤 保男

【ポイント】～創立20周年の新規事業に「事業化支援事業」を活用～

(株)ズーは、平成16年度、企業創立20周年に向けて「国内初の総合医薬品データベース『薬源』開発」で中小機構の事業化支援事業に挑戦し見事採択された。当社一丸となった努力と、事業化支援プロジェクトマネージャー及び派遣専門家のサポートにより、早期の事業化が達成された。この事業化に触発されて、当社は大いに活性化され、現不況下においても既存事業の売上げが急速に伸び雇用も増大している。(株)ズーは企業の再拡大期に入っており、本年10月から2回目の専門家派遣を開始して企業基盤の強化に取り組み始めた。「薬源」は更に進化を遂げ、本年度から売上げ増加に大きく寄与し、平成22年3月期は10億円に達する見込みである。

企業概要

- ▶ 企業名：株式会社ズー
- ▶ 業種：コンピュータ・ソフトハウス
- ▶ 本社所在地：長野県上田市下之郷813-12
(上田リサーチパーク)
- ▶ 資本金：40百万円
- ▶ 設立：昭和61年4月
- ▶ 売上高：869百万円(平成21年3月期)
- ▶ 従業員数：67名



代表取締役 宮島仁一社長

宮島社長は、昭和59年、東京での会社務めをやめてふるさとの上田でスタジオ・ズーを創業し、昭和61年4月に有限会社スタジオ・ズーを設立した。設立20周年を2年後に控えた平成16年、新事業展開を目指して中小機構の事業化支援事業に挑戦し、見事採択されたのが「国内初の医療用・一般用医薬品を包括する総合医薬品データベース『薬源』の開発」であった。これは、当社が長年携わってきた医療調剤関連事業を通して、国内の「薬」を巡る環境変化を見定め、飲み合わせの危険性を含めたあらゆる情報を網羅したデータベースの需要が必ず出現するとの確信から開発を始めたものである。

当社の懸命な努力と、事業化支援プロジェク

トマネージャーのハンズオン支援、及び派遣専門家のサポートにより、平成17年前半の半年間での商品完成に続き、平成18年度前半での事業化に成功した。

【店頭キオスク端末商品化でアピール】

商品化開発の過程で、当初予定していなかったタッチパネル方式の店頭キオスク端末商品「おくすり探検隊」も完成させた(下写真)。これは、平成17年度後半始動した販売活動の中で大きなインパクトを持ち、平成18年度での早期の事業化達成に繋がった。



「おくすり探検隊」と工藤保男事業化支援プロジェクトマネージャー
(平成17年10月22日、上田地域産業総合展にて)

支援課題の設定とプロジェクトマネージャーの視点

通常、事業化支援事業期間は1年間であったが、当社の場合、当初から半年の設定であった。平成17年5月から事業化支援プロジェクトマネージャーのハンズオン支援が開始された。今回開発した「薬源」は調剤薬局だけではなく、

医師や大学病院、更に一般生活者にもその販路を拡大する戦略であったため、医療全体に詳しく、ネットワークを有する専門家を平成17年7月から半年間、当社に派遣すると同時に、当社の開発陣は同年9月末を目標に商品化を終了することとした。

支援内容と支援成果

支援内容は大別して以下の2点であった。

- ①販路開拓の事前準備（平成17年7～9月）
 - ・分野別ターゲットの調査
 - ・ターゲットの設定と優先順位、アプローチ方法のアドバイス
 - ・開発DBの確認と改良のアドバイス
- ②具体的なアクション（平成17年10～12月）
 - ・主要顧客候補とのマッチング
 - ・展示会等のサポート

事業化支援事業の開始から2年後、当社の設立20周年の記念すべき平成18年度前半で事業化を達成し、売上を計上することが出来た。

更に大きな成果は、この事業化を契機に当社従業員の活性化がもたらされ、自信に繋がったことである。これは、右図の売上実績と従業員数の増加という「企業の成長」に顕著に現れている。

その後、更に市場ニーズに合わせた商品のブラッシュアップを継続して、本年、進化したソフト「メディカウンター」（右上写真）を市場に投入した。これは改正薬事法によるOTC医

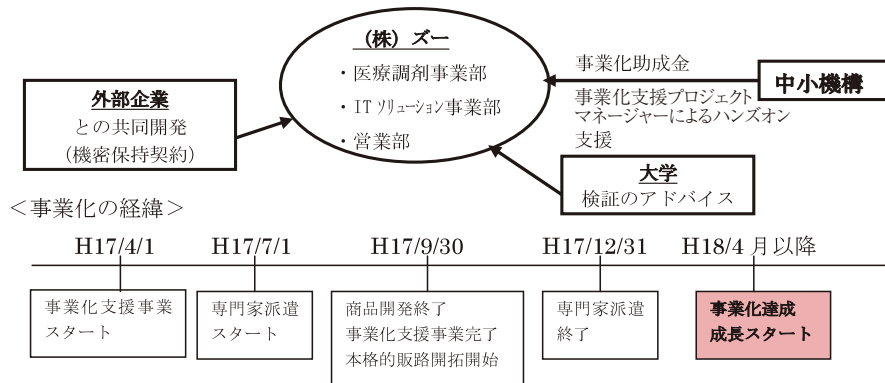
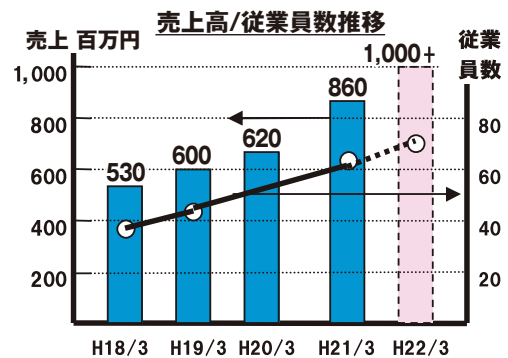
薬品対面販売に対応した支援システムであり、今後の需要増加が見込まれる。



対面販売支援システム「MediCounter」

経営者のことば

事業化支援事業に加えて、事業化支援プロジェクトマネージャーによるハンズオン支援や専門家派遣等、中小機構の施策を活用しながら、ズーは新たな成長期に入ることが出来たと思います。このタイミングで、企業の基盤強化を図るために、2回目の専門家派遣を10月から始めていただきました。是非成功させたいと思います。



開発体制と事業化実績、支援経緯